

ワークショップ 12

「免疫併用療法とシークエンシャルな治療戦略」

司会 室 圭（愛知県がんセンター薬物療法部）

片岡 洋望（名古屋市立大学消化器・代謝内科学）

進行・再発消化管癌における免疫チェックポイント阻害剤（ICI）の適応拡大に伴い、ICI 単剤治療に加えて、免疫複合療法、ICI と化学療法の併用、免疫療法と放射線療法の併用等の有用性が明らかになってきております。また、免疫療法が後続の薬物治療の感受性を高めるシナジー効果の報告も蓄積されております。PD-L1, MSI-H/dMMR, EBV, 腫瘍微小環境や ctDNA, 各種効果予測・予後予測スコアなどの有用性も踏まえ、これらのバイオマーカーに基づいて免疫療法の効果をどのように予測し、どのような症例にどのようなタイミングで免疫療法を行い、そして、何をどう繋いでいくべきなのか？ 最新のエビデンスをもとに、免疫併用療法とのシークエンシャルな治療戦略を模索する基礎研究、臨床研究を広く募集します。